

2008年(平成20年)4月21日

新刊

『フライを落とした野手はなぜ空を見上げるのか?』

保科 充弘著

事業承継や事業再生、上場企業同士の合併に関するアドバイス業務に携わる著者が、「日本一わかりやすいM&Aと企業

防衛の本」を執筆した。

大好きな野球の一シーンに企業経営をなぞらえている。タイトルにもなったフライを落とした野手が空を見上げる動作を著者は、「『言い訳』がな

いか探しているか、プライドの高い選手の『照れ隠し』」ととらえる。言い訳を考えて自己保身に走る前に、どうしたら会社を守るか、収益を上げられるかなど、前向きに仕事に取り組むことを提言している。

1項目ごとの読み切りタイプで全40項目で構成。従業員のやる気を引き出す「攻め」の大切さから、成長段階に応じてポイントが変わる「守り」まで、数々のプレーの場面を切り出しながら、岐路に立たされた時、企業経営がどうあるべきかを説いている。



(幻冬舎ルネッサンス刊) 03・5411・6710、1365円)